

マルコの福音書
第2回 バプテスマのヨハネ現る
(1:1~8)

《アウトライン》 福音のスタートポイント=バプテスマのヨハネの登場

1. 旧約聖書の予告編 (2-3 節 a)
2. バプテスマのヨハネの登場 (3b-6 節)
3. バプテスマのヨハネの教え (7-8 節)

《結論》 ヨハネの姿勢から学ぶ

《聖書研究メモ》

1:2-3a における旧約聖書引用

「見よ。わたしは、わたしの使いをあなたの前に遣わす。」

→出エジプト記 23:20 見よ。わたしは、使いをあなたの前に遣わし、道中あなたを守り、わたしが備えた場所にあなたを導く。

「彼はあなたの道を整える」

→マラキ書 3:1 「見よ、わたしはわたしの使いを遣わす。彼は、わたしの前に道を備える。あなたがたが尋ね求めている主が、突然、その神殿に来る。あなたがたが望んでいる契約の使者が、見よ、彼が来る。——万軍の【主】は言われる。」

「荒野で叫ぶ者の声がある。『主の道を用意せよ。主の通られる道をまっすぐにせよ。』」

→イザヤ書 40:3 荒野で叫ぶ者の声がある。「【主】の道を用意せよ。荒れ地で私たちの神のために、大路をまっすぐにせよ。」

1:4 の用語解説

〈バプテスマ〉 ギリシャ語の動詞「バプティゾウ」（浸ける、沈める）の名詞形。
ユダヤ教では、宗教的な汚れからの清めの儀式のこと。

〈罪〉 ギリシャ語で「ハマルティア」。神の正しさの基準から、意図的に的を外すこと。

〈悔い改め〉 ギリシャ語で「メタノイア」。心を変える、神に立ち返るということ。

1:6 におけるヨハネとエリヤの対比

→列王記第二 1:8 彼らが「毛衣を着て、腰に革の帯を締めた人でした」と答えると、アハズヤは「それはティシュベ人エリヤだ」と言った。

→マラキ書 4:5 見よ。わたしは、【主】の大いなる恐るべき日が来る前に、預言者エリヤをあなたがたに遣わす。